

114  
A 4460



去ル明治七年臺灣蕃地御處分ノ際准二等出仕李仙得  
ヲ特例辨務使ニ任セラレ清國福建へ被差遣候處本邦  
在勤米公使ビンハムヨリ内書ヲ以テ北京在勤同國公  
使へ通達ノ趣有之タル趣テ厦門在勤ノ米國領事ハ威  
力ヲ以李仙得ヲ拘留シ其日本國ノ特例辨務使ハ由  
ヲ説キ聞カセタルニモ拘ラス其命令書ヲ示サン云  
フヲモ聞キ入レス拘留ノ上上海へ護送セラレタル一  
案即今合衆國々議院ニ於テ審査中ニ有之是カツノ先  
般李仙得在米中代議院ノ法律委員ヨリ公達有之タル

大正十一年四月  
大隈侯爵郵寄贈



由ニテ明治七年七月十四日付ヲ以テ同人ハ御附與相  
成候命令書抄文一紙別紙御下附相願候旨李仙得  
ヨリ申立候付其趣書面別紙ヲ以願出サセ御許可ノ  
上右抄文英ハ官中記録ノ真寔ナル旨ヲ証明渡遣シ候  
處右證明書上小官ノ記名相違ナキ旨ヲ同國公使館  
ヲ尚ホ証明ヲ受ケ度由同人願出候ニ付同人同道同國  
公使館ハ相越シ公使ビシハムハ面接ノ上同公使面前  
ニテ小官記名イタシ候處同公使右ハ小官公務上ノ記  
名ナルヤト相尋候ニ付然リト相答候處同人筆ヲ執リ  
右公務上記名ハ小官ノ手書相違ナク又小官ノ現官云  
々ト相認メ自身ニモ記名シ別紙仙得ハ相渡シ候  
付右各證全備セル命令書翻譯譯文一紙去ル九月二日  
ノ郵船便ニテ同人代言師ハ送遣シタル旨李仙得申出

候付右書類相添此段申上置候也

明治十二年九月四日

賞勳局一等秘書官平井亦昌

譯文

二等官リゼンドル氏ヲ此ノ書ヲ以テスベシヤルコト  
 ミツシヨネル(特例辨務使)ニ任シ清國福建省ニ至リ令  
 マ兩國間ニ成立シ及ヒ存在セル臺灣生蕃事件ノ紛議  
 ヲ解除センタメニソイスロイ(總督)リイフヲ子エン(李  
 鶴年)タルタルゼ子ラル(將軍)ソシヨ(文煜)等ト會議ヲ開  
 クヘキ旨ヲ命ス因テリゼントル氏ハ吾カ國真誠ノ意  
 旨ヲ詳辨シ彼等ヲシテ日本政府ノ所置ヲ明亮熟知セ  
 シメンコトニ勉勵盡カセンコトヲ望ム  
 上文ノ證トシテ予ノ官印ニ蓋押シ本日乃チ明治六年  
 七月十四日右リゼンドルニ附與スル者也

太政大臣三條實美印

相違ナキヲ証ス

平井希昌

横文ノ和譯

前書ハ臺灣蕃地事務局記録ニ在ル原書翻譯ノ抄  
文ナルコト相違ナシ舊蕃地事務局長官參議只六藏  
卿大隈重信閣下ノ命ニ依リテ

舊蕃地事務局御用掛

明治十二年八月廿九日

一等秘書官平井布昌印

三〇ノ

予カ兼テ熟知セル平井布昌君親シク予カ日前ニ來リ  
テ此ノ書ニ載セタル記名ハ同君ノ手書ニ出テ且右ハ  
同君公務上ノ記名ナルトノ趣ヲ証言セリ平井君ハ現  
今日本帝國賞勲局ハ秘書官ナリ此由併セラテ公報スル  
者ナリ

日本東京合衆國公使館ニテ

千八百七十九年九月二日

日本駐劄合衆國公使

アビンガム

謹啓 迂生儀去ル六月米國代議院法律委員ノ查問 詰り  
 ニ際シ現今清國駐劄合衆公使タルゲリエ、シウルト  
 閣下ノ代訟師ヨリ該委員ヘノ請求ニ因リ千八百七十  
 四年ニ於テ日本此府ヨリ迂生ニ授與セラレタル或ハ  
 命令書ノ原文ヲ差出スヘキ旨公達ヲ得タリ  
 然レトモ迂生ハ敵國ノ法律ニ遵ヒ奉仕セシ所ノ政府  
 ヨリ許可ヲ得スシテ該書類ヲ差出ス儀謝却ニ及ヒ候  
 處然ルニ於テハ其ノタメ要用ノ免許ヲ乞ヒ受ケ候様  
 依頼ヲ受ケ申候

是ニ由リ今モ迂生ヨリ相願ヒ候趣ハ千八百七十四年  
 清國南地へ出張ニ際シ皇帝陛下ノ命ニ由リ迂生ニ授  
 與相成リタリ 治七年七月十四日 千八百七十四年 付

大 女 官

命令書抄文  
下ニ賜リ日ツ該抄文ヲ迂生ヨリ直  
チニ又ハ迂生ノ代言人ヲ經由シテ前ニ述ヘタル法律  
委員長ニ送興スヘキ我舊長官タル大隈君ノ免許アラ  
ンコトヲ華盛頓ノ府ニアル我代訟師ノ忠告ニ由リ懇求  
イタシ候也拜具

千八百七十九年八月廿九日

チヤス  
ダブリユ  
リゼンドル

舊蕃地事務局御用掛

平井希昌殿

平井希昌ヨリ李仙得へ往翰案

一 翰致谷達候陳ハ貴下儀去ル六月米國ワシントン市  
ニ於テ代議院法律委員長ノ查問結局ノ際ジョエフシ  
ウハド氏ノ代言人ヨリ該委員ハ願ヒニ由リ千八百  
七十四年ニ於テ我カ皇布陛下ノ政府ヨリ貴下へ付與  
サレタル命令書ノ原文ヲ差出スヘキ旨公達アリシト  
雖凡貴下ニ於テハ我政府ノ命令ナクシテ該命令書難  
差出旨ヲ以テ謝却被致タル旨舊蕃地事務局長官參議  
兼大蔵卿大隈重信閣下へ御通報相成随テ一千八百七  
十四年六月十四日付ノ命令書ニ証明ヲ付シタル抄文  
一紙ヲ賜ハテ且ツ該書ヲ華盛頓府ニ在ル該委員ニ差  
贈候儀御免許相成度同閣下へ請求相成候處同閣下ハ  
貴下ノ請願ノ爲ラシ該命令書抄文一紙ヲ貴下へ差

レ進レ且右々 書抄六ノ米國代議院ノ法律委員長ハ  
貴下ノ代言人ヨリ又ハ便豆ニ從ヒ其ノ他ノ人ヲ以テ  
差送ラレ候儀自由タルヘキ旨貴下へ通報可致旨下命  
有之候此段申進候也

舊蕃地事務局御用掛

明治十二年八月廿九日

平井希昌

李仙得貴下

拜啓大隈君へ。拜謁ノ期モ三日内ニ在ル趣テハ地球  
論說中若シクハ政府ニテ妨碍アリトセラレヘキ件ニ  
付迂生ヨリ申明ノ儀 先々見合置可申雖然迂生ニ於  
テ必ラス辨明セサルヘカラサルノ一儀ハ右論說中該  
事件ニ付支那國干涉スルノ權アリト論述セシ事決シ  
テ無之迂生ノ此ノ論說ヲ草スルノ意匠ハ徹頭徹尾恰  
モ其反對ニシテ支那ニ干涉ノ權アル事ナシト云フヲ  
論スルニ在リタリ  
茲ニ一私事ヲ煩サントス先般面話ニ請求セシ所ノ彼  
ノ文書ヲ今衆國議院ニ差出シ不苦旨大隈君ノ一書ヲ  
賜ハリ次回ノ郵船ニテ送致セン事ヲ欲スル也國議院  
ハ已テニ閉ト打成リタレトモ去六月中制定ノ法律

ニ從ヒ入封、新聞紙十八葉ヨリ二十葉ニ至ルヲ見ル  
議院ノ法律委員ハ休會中ニ事件ノ取調ヲ命セラル  
シテ予ハ右法案決定ヨリ十日ノ後夫ノ命令狀ヲ差出  
スヘキ達シ又受タレハ也

茲ニ大隈君ヨリ迂生ニ賜ハラシ事ヲ希フ所ノ書翰ノ  
稿案ヲ謹擬ス

千八百七十四年皇帝陛下ノ政府ヨリ臺灣蕃地へ出  
使ノ件ニ關シ同年六月足下命ヲ奉シテ清國福州ニ  
發向セントスルノ際明治七年六月十四日付ヲ以テ  
足下ニ附與セシ命令狀ノ寫ヲ差出スヘキ旨先般貢  
國政府ヨリ諸求アリシ由承知セシメ候因テ予ハ今  
マ古命令狀ノ寫ニ証明ヲ付シ之ヲ足下ニ送ルナリ  
且此ノ寫シハ合衆國代議院ノ法律委員長、贈進シ

不苦旨併セラ爰ニ公許スルナリ

若シハ此右寫ヲ予ニ賜ハ、予ハ公使館ニ至リ大隈  
君ノ名印相違ナキ旨ノ証印ヲ得シトス該命令狀ノ本  
紙ハ目下迂生ノ手許ニ在ル故ニ二十五日又ハ二十八  
日兩日ノ内貴邸ニ推参シテ檢閲ヲ乞ハントス

千八百七十九年八月

李仙得



